







平成29年7月-9月期・東員町商工会 中小企業景況調査結果（小売業）

売上額のD I 値は、前年同期比が33.3、前期比が50.0とかなり好調であるが、来期見通しは±0.0と現状よりは低下する見込みである。採算（経常利益）のD I 値は、前年同期比が±0.0と横ばいを示しているが、来期見通しは-25.0と悪化する見込みである。資金繰りのD I 値は、前年同期比、前期比、来期見通しともに±0.0となっており、大きな変化なく横ばいで推移する見込みである。業況のD I 値は、前年同期、前期比及び来期見通しともに-25.0となっており、売上、採算、資金繰りに比べると厳しい状況で推移していくと思われる。三重県商工会エリア全体のD I 値は、全ての項目のD I 値がマイナスを示し、小売業の厳しさが見て取れるが、東員町商工会エリアでは、業況等にマイナスのD I 値があるものの、三重県全域と比較すると景況感の良い状態にあると思われる。

東員町商工会エリア	今期（29年7-9月期）の状況				来期（29年10-12月期）の状況		
	項目	前年同期（28年7-9月期）と比較		前期（29年4-6月期）と比較		前年同期（28年7-9月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上額	33.3	増加 快晴	50.0	増加 快晴	±0.00	横ばい 曇り	
採算（経常利益）	±0.00	横ばい 曇り	--	--	-25.0	悪化 雨	
資金繰り	±0.00	横ばい 曇り	±0.00	横ばい 曇り	±0.00	横ばい 曇り	
業況	-25.0	悪化 雨	-25.0	悪化 雨	-25.0	悪化 雨	

三重県商工会エリア	今期（29年7-9月期）の状況				来期（29年10-12月期）の状況		
	項目	前年同期（28年7-9月期）と比較		前期（29年4-6月期）と比較		前年同期（28年7-9月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上額	-43.9	大幅に減少 豪雨	-26.9	減少 雨	-43.9	大幅に減少 豪雨	
採算（経常利益）	-41.5	非常に悪化 豪雨	--	--	-34.2	悪化 雨	
資金繰り	-25.0	悪化 雨	-22.0	悪化 雨	-24.4	悪化 雨	
業況	-42.5	非常に悪化 豪雨	-35.1	非常に悪化 豪雨	-44.7	非常に悪化 豪雨	

各項目の評価については次により表示した。

D・I値※	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～ △20.0	△20.1～ △35.0	△35.1～
区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
天気図表示	快晴 	晴れ 	曇り 	小雨 	雨 	豪雨 

※D I 値は、増加・好転等の割合から減少・悪化等の割合を差し引いた値。

今期直面している経営上の課題については、重要度の高い1位に上がっているのが「その他」、次に「販売単価の低下、上昇難」と「需要の停滞」が上がっている。「その他」の内容が不明であるが、販売単価の低下や需要の停滞など売上に関する項目が問題点として認識されていると思われる。三重県商工会エリア全体と比べると、「その他」は共通するが他の項目には少しズレがある。なお、上位3項目を集計した表が下にあるが、「その他」と並んで「人件費以外の経費の増加」が50.0%でトップに並んでおり、採算や経費に関する項目に対する問題意識も高くなっている。

重要度1位の項目

(%)

東員町商工会エリア	1位		2位		
1位にあげる問題点	その他		販売単価の低下、上昇難、需要の停滞		
前期/今期	--	50.0	--	25.0	
三重県商工会エリア	1位		2位		3位
1位にあげる問題点	需要の停滞		購買力の他地域への流出		大型店・中型店の進出による競争の激化
前期/今期	19.5	24.4	14.6	19.5	24.4 14.6

重要度1位～3位の項目の集計

東員町商工会エリア	1位		2位	
1位～3位に上がった問題点	人件費以外の経費の増加、その他		消費者ニーズの変化、販売単価の低下、上昇難、代金回収の悪化、需要の停滞	
前期/今期	--	50.0	--	25.0